

萌黄 (もえぎ) 通信



2015年 新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。今年も仕事的には、先が読めない年になるかと思えます。ただ、昨年の11月くら

いから現調の依頼数はかなり増えているという実感はありました。

今後、現調後の見積り物件が約定する率が増えてくれば、景気が良くなってきていると実感できるでしょうが、さて、どうなるか？ とにかくできる限りのことをして前向きに進む一年間にしていきたいです。

今年、年初よりWebサイトのトップを追加変更していき、より拡充させていく予定です。

そしてネットからの依頼件数を増やしていきます。更に、同業者との交流を深めて、石材メンテナンス業の技術を上げていきたいです。



やることの多い1年間になりそうです。

「御影石の洗浄の濡れ色除去」

今月の石材メンテナンスは、おるオフィスビルの外構の御影石の床が点々と濡れ色が出ている現場からです。

大きなオフィスビルなので、当然、上には庇もあり、普通の雨降りでは吹き込む感じもなく、石貼り施工時前には裏面処理まで行っているということです。

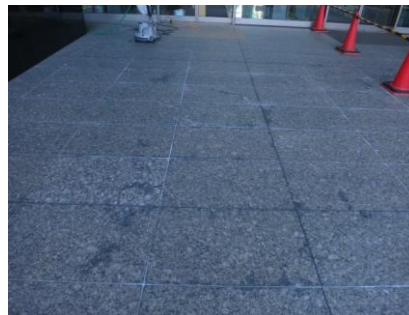
写真を見た限りでの一般的に考えられるシミとしては、油のようなものを点々とこぼしたか、裏面からの吸い上げによる濡れシミかという解釈をしようところです。

原因をはっきりさせる意味では、やはり、現調して、一部テスト施工をする必要があります。

現調をしてみて分かったのは、石に含まれる節理のようなものが比較的多い性質で、そこに強風時に吹き込んだ雨水等が入り込み濡れ色感が出ているようです。

まず、洗浄して石面を綺麗にした後に簡易パーナーで炙ると石の濡れ色感が元に戻ることが分かりました。ただ、このままでは、すぐに再発してしまうので、本施工では、全体洗

浄後にこの濡れ色部分に強制的に浸透性コートを塗布して、急速乾燥をし、最後に全体的にも同じコートを塗布する工法で完了しました。



1. 点々とした濡れ色症状



2. 洗浄中



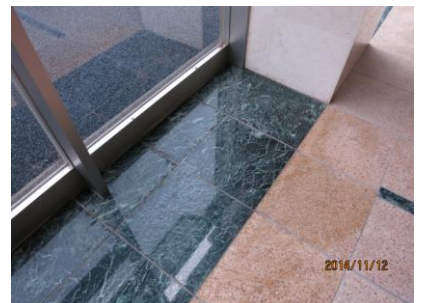
3. コート塗布後にパーナー炙り



4. 全体へも浸透性コート施工後

蛇紋岩のエフロ除去研磨

あるオフィスビルのエントランスが雨漏りで蛇紋岩が白華してしまいました。こうなると表層にエフロ(白華)の層が出来てしまっているのので、ダイヤモンド研磨で再生していきます。4工程の研磨で見事に復活しました。



(編集後記) 今年の大掃除は秋からのカミさんの断捨離が実りあまり片付けや掃除するところが少なかったです。やはり日頃の小さな積重ねが大切と実感。感謝です。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町 1-1-10 5F

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp> (メール) info@e-kands.jp